

ウォシュレット。ネオレストハイブリッド(便器部)◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

**必ず
実施**

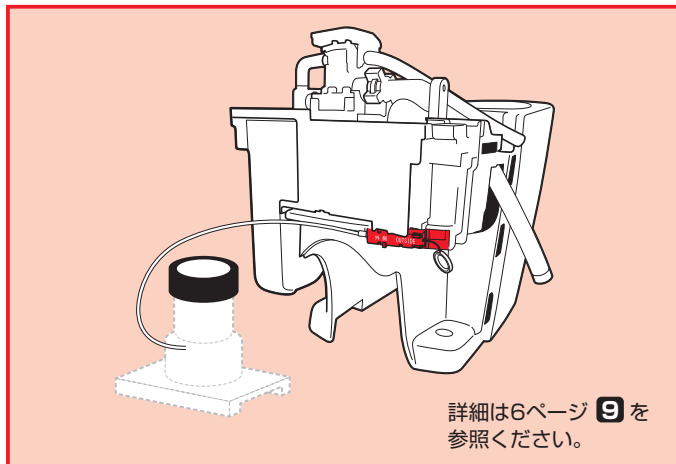
商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

従来にはない施工が必要です。

排水ソケットに付いている手動レバーを必ず便器に取り付けてください。

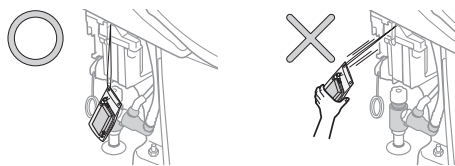
⇒ 詳細は6ページ 9 を参照ください。

従来製品からの主な注意点



詳細は6ページ 9 を参照ください。

停電時に使用するため電池ボックスは取り外さないでください。



※袋のヒモが切れてしまった場合は、もう一方の穴に通して取り付けてください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「禁止」を示します。



必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。



この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、
人が傷を負う可能性および物的損害のみの発生が
想定される内容を示しています。



禁止

便器に強い力や衝撃を与えない

便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

給水フレキシホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない

給水フレキシホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない

止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

浴室など湿気の多い場所に設置しない

火災、感電、発熱、ショートの原因になります。



必ず実行

設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する

正常な取り付けができなくなる可能性があります。

設置工事は、この説明書に従って確実に行う

故障や水漏れの原因になります。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

取り付け前のご注意

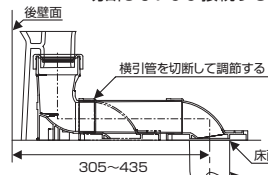
排水心の確認

●排水心 305～435mm の場合

横引管を排水心にあわせて切断し、
塩ビ接着剤で確実に接続してください。

※排水心 435mm の場合でも横引管の切断が必要です。

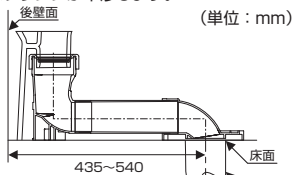
※切断しないまま接続すると、便器と床フランジが干渉します。



●排水心 435～540mm の場合

横引管の切断が必要です。

目盛り275mmの位置で切断してください。



●施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようご注意ください。
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。

●取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。

●室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因となります)

●後壁に床面から高さ1400mm以下の棚やキャビネットなどがあると、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。
(棚、収納キャビネットは下端 FL+1400mm以上を目安としてください)

●施工前に給水管取り出し位置が次頁「給水位置の確認」に含まれていることを確認してください。

●施工前には、埋設されている給水管などの破損を防止するため、位置を確認してください。

●電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は機種によって異なりますのでウォシュレット本体同梱の施工説明書をご確認ください。

●便器(ヒーター付の場合): 電源コードの長さは、約1mです。

コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。

●給水圧力は最低必要水压(流動時)0.05MPa(1.0L/分)、

最高水压(静止時)0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。

●止水栓を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

●商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。

●ヒーター付便器、水抜き方式の場合は、給水ホースの水抜き勾配を確保できるように取り付けしてください。取付方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

●商品セット図は、住宅&パブリックカタログ・専用カタログをご確認ください。

●排水アジャスターを組み立てる際は、塩ビ用接着剤を**全周に十分塗布**し、最後まできちんと**押し込んで**ください。水漏れのおそれがあります。



横引管を使用しない場合、この面にも塩ビ用接着剤を十分塗布する。

同梱部品の確認

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器本体	排水アジャスター	Pシール	給水金具	固定金具類	その他
便器ヒーター用プラグ ※電池ボックス付き(1個) ※ヒーター付便器の場合	便器接続部(1個) ※ゴムジョイント 手動レバー付き	金属フランジ用 (1個) 樹脂フランジ用 (1個)	止水栓 (1個) 床継手 (1個) クリックファスナー (1個) (φ4×30.4本) エルボ (1個) ストレート管 (1個) フランジ (1個) 分岐金具 (1個)	六角ボルト (2本) 止め金具 (2個) ナット (2個) ワッシャー (2個) 木ねじ(排水ソケット用) (φ5×50:4本) Tボルト (2本)	開閉工具(1個) 施工説明書 (1部) ※すっきりパネル裏側に貼り付けてあります。 水受けトレイ (寒冷地のみ:1個) ※お客様に選んでください。 位置決めシート (1部)
すっきりパネル	横引管 (1個) 床フランジ接続部 (1個)	固定片 木ねじ 接着ブロック 固定片 (φ5×40:2本) (1個) (1個)	給水ホース 給水ホース (1本) ※バックン付き	バックン (1個) ※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。	

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

給水位置の確認

⚠注意



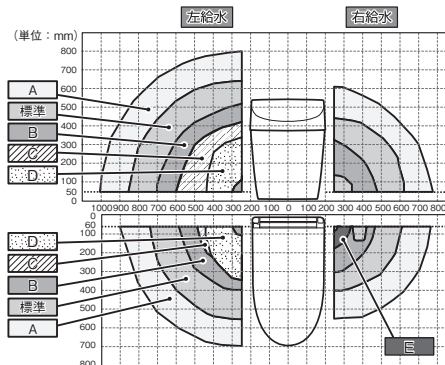
給水位置の真下に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・電源コンセントを接触させない。結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。



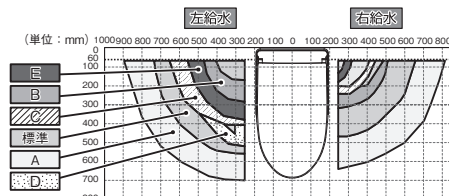
ヒーター付便器、水抜き併用方式をお使いのお客様は、ホース内の水抜きができるような勾配を確保して取り付ける。水が抜けずに凍結し、通水できないおそれがあります。

止水栓取付位置	給水ホース品番	給水ホース長さ	止水栓取付範囲(右図参照)
標準	標準ホース	700mm	標準給水ホースでの止水栓取付範囲
A	TN111L86	860mm	Aの給水ホースでの止水栓取付範囲
B	TN111L552	550mm	Bの給水ホースでの止水栓取付範囲
C	TN111L45	450mm	Cの給水ホースでの止水栓取付範囲
D	TN111L40	400mm	Dの給水ホースでの止水栓取付範囲
E	TN111L37	370mm	Eの給水ホースでの止水栓取付範囲

- 給水ホースの到達範囲を示したものです。ホース長さ、給水位置によってはホースが大きくなる場合があります。
- TN111L37は長さ調整用の継手を使用しない場合の範囲を示しています。
- 前提条件—
- 左壁、左床給水の場合、床継手は標準位置に取り付けとなります。
- 右壁、右床給水の場合、床継手を位置決めシートの床継手取付範囲の右側寄せて取り付けとなります。
- ※標準ホース(L=700)右壁・右床給水の場合も上記と同様の位置に取り付けとなります。



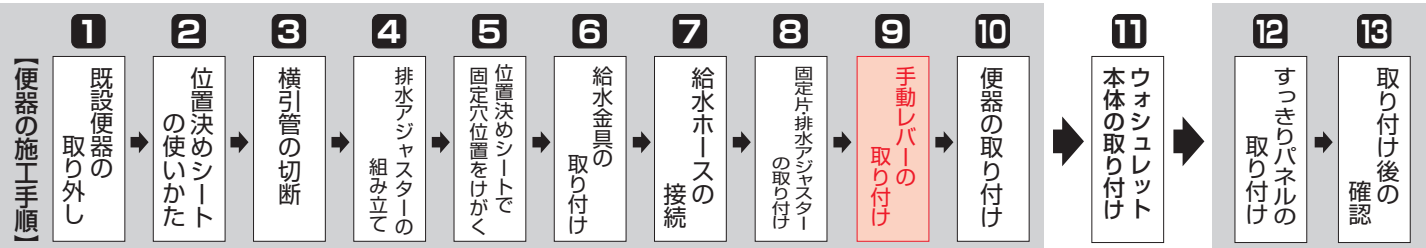
寒冷地・水抜き仕様の場合



- ※寒冷地（水抜き方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。水抜きハンドルはパネルの着脱と干渉しない位置に立ち上げてください。
- ※給水ホースが折れないように接続方向を調整してください。
- 給水ホースが折れると水が流れなくなったり、水漏れするおそれがあります。

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。（ は本紙、 はウォシュレットの施工説明書を参照ください）



各部のなまえと施工のポイント

ポイント①

すっきりパネルの取り付けはウォシュレット本体を取り付けたあとに行うこと！



注意 電池ボックスは取り外さないでください。

① すっきりパネル(左)

ポイント②

給水ホースの取り付けの際、ホースの折れ、およびすっきりパネルとの干渉に注意すること！
(⇒ ⑦)



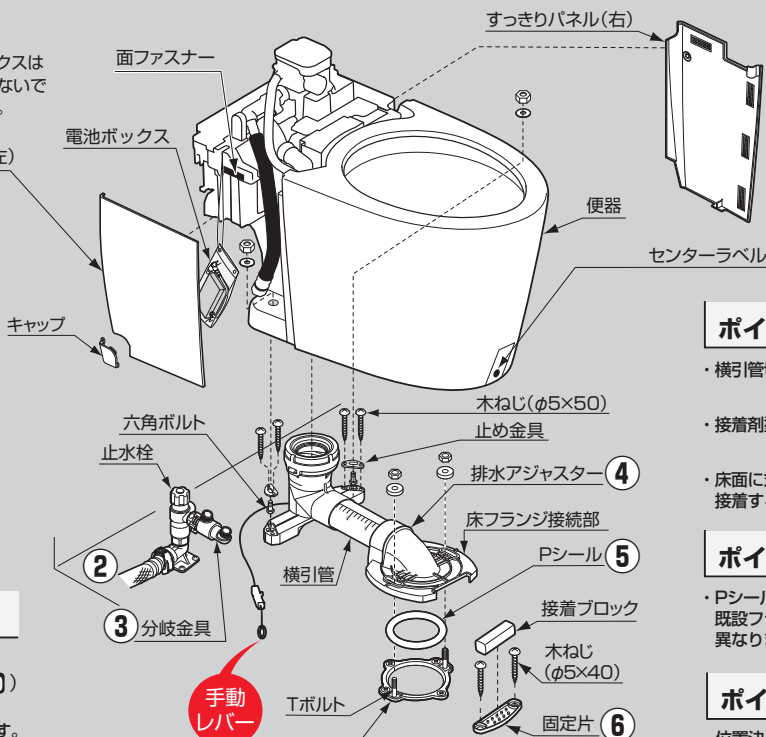
給水ホースの取り回し例 (床給水)



注意 便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けください。ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

ポイント③

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておくこと！ (⇒ ⑩)
外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。



ポイント④

- ・横引管切断は真つすぐ切断すること！ (⇒ ③)
- ・接着剤塗布位置を間違えないこと！ (⇒ ④)
- ・床面に対してガタツキがないように接着すること！ (⇒ ⑧)

ポイント⑤

- ・Pシールの種類およびセットの方法は既設フランジの種類によって異なります。 (⇒ ⑧)

ポイント⑥

- 位置決めシートで固定片の位置を正しく出すこと！ (⇒ ⑤)

※既設フランジ
T53WR75, T53WR100, T53PR75, T53PR100, HP430系



<ヒーター付便器の場合>
水受けトレイ
※お客様に渡してください。

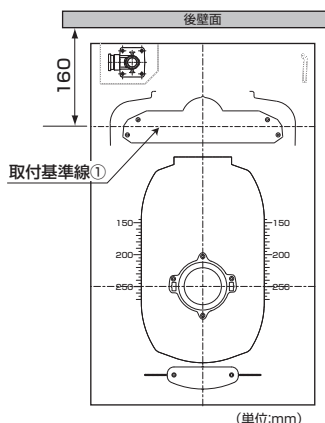
1 既設便器の取り外し

- ①既設の便器を取り外し、Pシールをきれいに取り除く。
- ②既設フランジ中心線を床にけがく。

2 位置決めシートの使いかた

●排水心305～435mmの場合

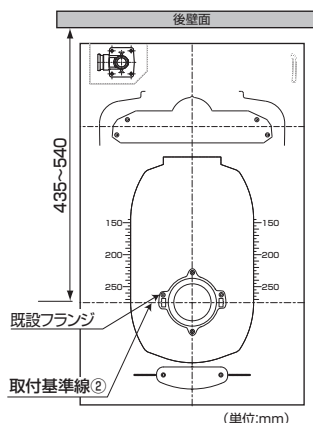
後壁面から160mmの位置に位置決めシートの取付基準線①をあわせて置く。
※寸法出しは後壁から行ってください。
(幅木からではありません)



※取付基準線の位置決めは左右の2カ所で行ってください。

●排水心435～540mmの場合

既設フランジ中心線に位置決めシートの取付基準線②をあわせて置く。



3 横引管の切断

●排水心305～435mmの場合

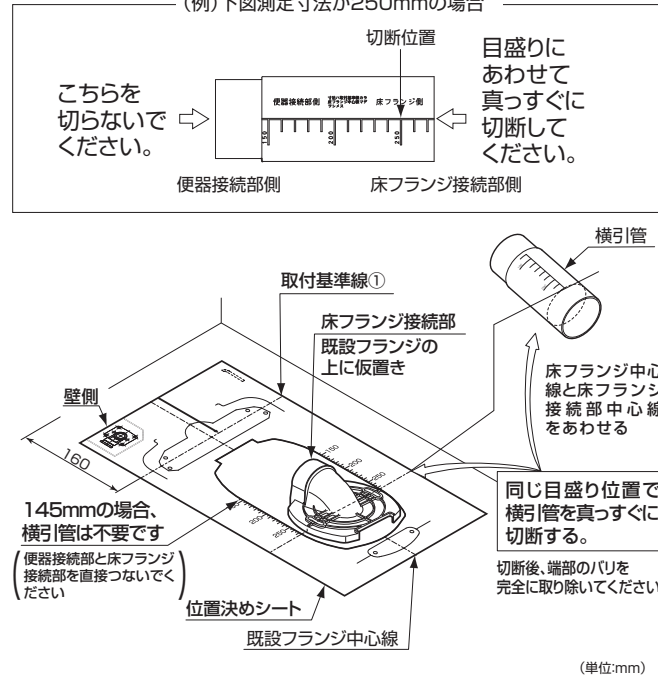
横引管を排水心にあわせて切断する。

●排水心435～540mmの場合

横引管を目盛り275mmの位置で切断する。

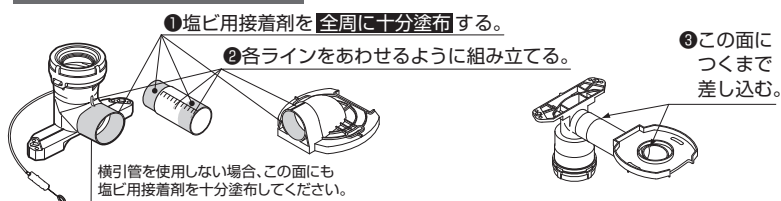
- ・排水心435mmの場合でも横引管の切断が必要です。
- ・切断しないまま接着すると、便器と床フランジが干渉します。

(例) 下図測定寸法が250mmの場合



4 排水アジャスターの組み立て

●排水心305～435mmの場合



△注意



必ず実行

横引管は最後まで、きちんと押し込む
接着が不十分な場合、水漏れして家財などを
ぬらす財産損害発生の原因になります。

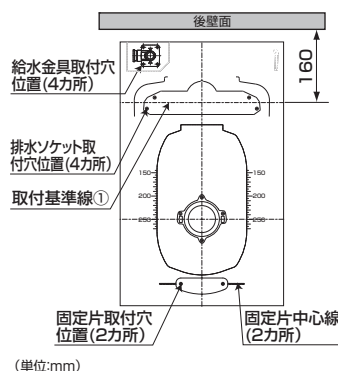
床面に対してガタツキがないように接着する
ガタツキが大きいと水漏れして家財などをぬらす
財産損害発生の原因になります。

5 位置決めシートで固定穴位置をけがく

左給水の場合

●排水心305～435mmの場合

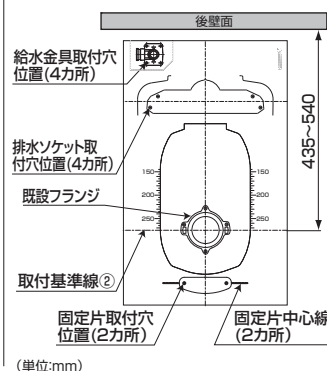
- ①後壁面から160mmの位置に位置決めシートの取付基準線①をあわせて置く。



- ②位置決めシートを所定の位置に置き排水ソケット取付穴位置、固定片取付穴位置、給水金具取付穴位置、固定片中心線(12カ所)をけがく。
・床に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴をあけると作業しやすくなります。

●排水心435～540mmの場合

- ①既設フランジ中心線に位置決めシートの取付基準線②をあわせて置く。

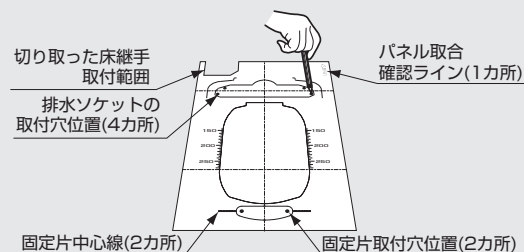


右給水の場合

- ①位置決めシートの床継手取付範囲をミシン目に沿って切り取る。



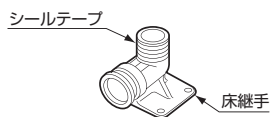
- ②切り取った床継手取付範囲、パネル取合確認ライン、排水ソケットおよび固定片の取付穴位置、固定片中心線をけがく。



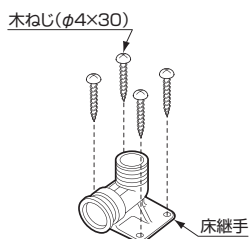
6 給水金具の取り付け

左給水の場合

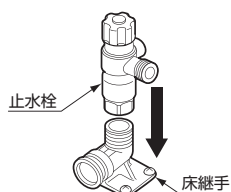
- ① 固定する前にねじ部にはシールテープを巻いてください。



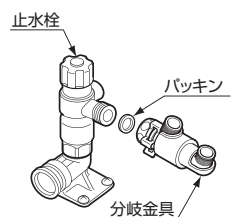
- ② 床継手を所定の位置に木ねじで床(4カ所)に固定する。



- ③ 床継手に止水栓をねじ込む。



- ④ 止水栓にパッキンと分岐金具を取り付ける。
・結束バンドは切らないでください。



右給水の場合

<イラストは床給水(寒冷地)の場合>

⚠ 注意



必ず実行

右給水の場合は、位置決めシートで、適切な位置に床継手の下穴をあける

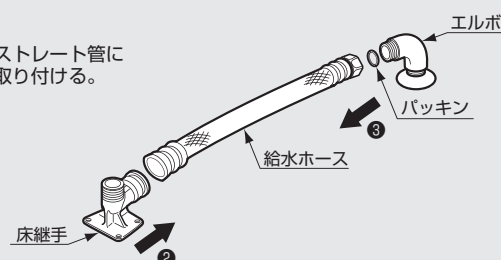
床継手の位置が適切でない場合、給水ホースがパネルと干渉したり、床継手や給水管と接続できないおそれがあります。

- ① 既設の止水栓を外し、既設の給水管にストレート管またはエルボを取り付ける。
床給水の場合：ストレート管
壁給水や寒冷地の場合：エルボ
・ 固定する前にねじ部にはシールテープを巻いてください。



- ② 床継手と給水ホースを取り付ける。

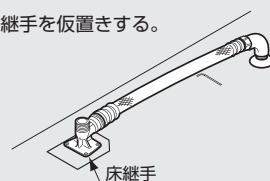
- ③ エルボまたはストレート管に給水ホースを取り付ける。



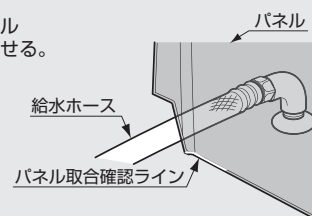
- ④ 位置決めシートでけがいた範囲内で床継手を仮置きする。



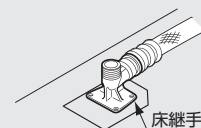
注意
床継手の下穴はまだあけないでください。



- ⑤ 位置決めシートでけがいたパネル取合確認ラインにパネルをあわせる。

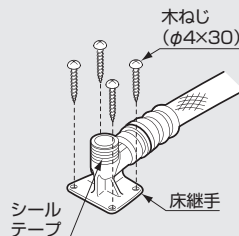


- ⑥ ホースとパネルが干渉しない位置に、位置決めシートでけがいた床継手取付範囲内で床継手を適切な位置に仮置きする。



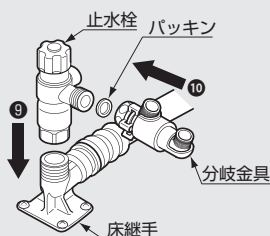
- ⑦ ねじ部にはシールテープを巻いて、取り付ける。

- ⑧ 床継手を固定する。
仮置き後、給水ホースとパネルが干渉しないことを再度確認し、床継手を木ねじで床(4カ所)に固定する。
・ 床に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



- ⑨ 床継手に止水栓をねじ込む。

- ⑩ 止水栓にパッキンと分岐金具を取り付ける。



7 給水ホースの接続

⚠️ 注意

床継手と給水ホースはすき間ができないように確実に押し込む

クイックファスナーは正しく取り付け、目視などで確認する

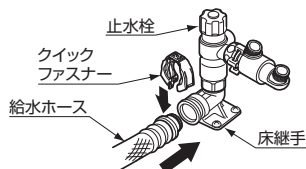


必ず実行

カバーが閉まらない場合は、クイックファスナーが正しく接続されていない可能性があり、そのまま使用すると水漏れの原因になりますので、必ずクイックファスナーを取り外して正しく接続し直す

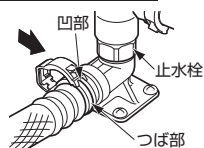
取り付けが不十分な場合、外れて水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

- ① 床継手に給水ホースを接続し、クイックファスナーを取り付ける。



クイックファスナーの取り付けかた

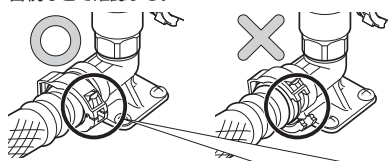
- 1) 床継手と給水ホースとのつば部にクイックファスナーカバー先端の凹部をあわせ、真つすぐ押し込む。



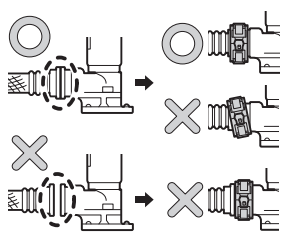
- 2) クイックファスナーは、カバーの先端を指先で確実に閉める。

カバー先端

- 3) クイックファスナーが確実に閉まっていることを目視などで確認する。



1. クイックファスナーが正しくセットされているか確認してください。



2. ホースを強く引っ張って抜けないことを確認してください。

※クイックファスナーが正しくセットされていないと、ホースが抜けて水漏れのおそれがあります。

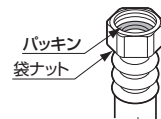
⚠️ 注意



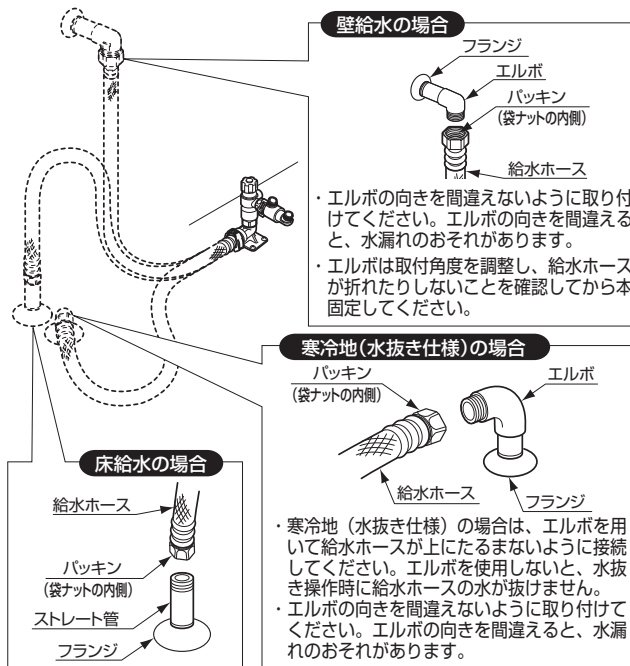
必ず実行

袋ナットの内側にパッキンが入っていることを確認する
給水ホースの取り付けの際、ホースの折れに注意する

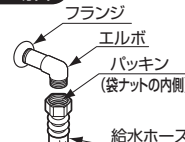
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因になります。



- ② 既設の止水栓を取り外し、既設の給水管にストレート管（床給水の場合）またはエルボ（壁給水や寒冷地の場合）を取り付け、給水ホースを接続する。

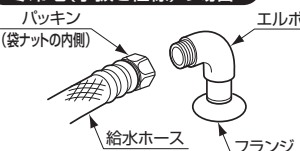


壁給水の場合



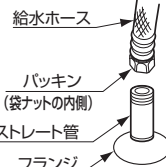
- ・エルボの向きを間違えないように取り付けください。エルボの向きを間違えると、水漏れのおそれがあります。
- ・エルボは取付角度を調整し、給水ホースが折れたりしないことを確認してから本固定してください。

寒冷地（水抜き仕様）の場合



- ・寒冷地（水抜き仕様）の場合は、エルボを用いて給水ホースが上になるように接続してください。エルボを使用しないと、水抜き操作時に給水ホースの水が抜けません。
- ・エルボの向きを間違えないように取り付けください。エルボの向きを間違えると、水漏れのおそれがあります。

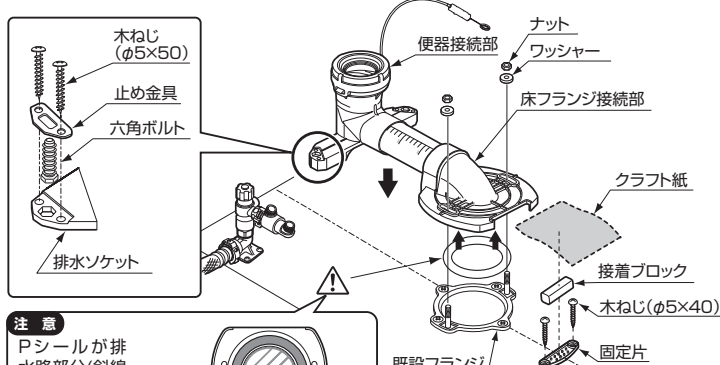
床給水の場合



※オプションホースの接続については、オプション品同梱の施工説明書を確認してください。

8 固定片・排水アジャスターの取り付け

- ① 〈樹脂フランジの場合〉 Pシール（樹脂フランジ用）をフランジにセットする。
〈金属フランジの場合〉 Pシール（金属フランジ用）を排水アジャスターにセットする。
- ② 排水アジャスターをフランジに押し付けてから、所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通してうえで、便器接続部の取付穴（4カ所）に木ねじを入れ、確実に締める。
- ③ 床フランジ接続部を、ワッシャー・ナットで既設フランジに固定する。
- ④ 固定片を固定片中心線にあわせて、木ねじで床（2カ所）に固定する。
・床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。
- ⑤ 接着ブロックをクラフト紙に包んだ状態のまま固定片の凹部のピンに差し込み、指で軽く押す。
・印字のないツルツルの面を下向きにしてください。



注意

Pシールが排水路部分（斜線内）に入らないようにセットしてください。洗浄不良の原因になります。 ※図は金属フランジの場合

※気温が下がると Pシールと接着ブロックが固くなる場合があります。このときは、Pシールと接着ブロックをあたたためて柔らかくしてからご使用ください。

⚠️ 注意

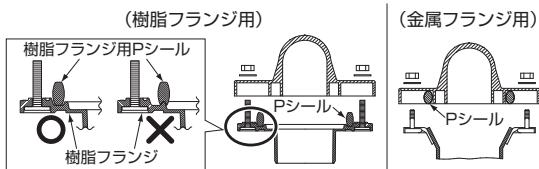
Pシール取り扱い上の注意

- ・既設の床フランジのタイプにあわせ、必ず同梱（再取り付け時は同品番）の金属フランジ用 Pシール（補修品番：TH633）または、樹脂フランジ用 Pシール（補修品番：TH633-3）を使用する
- ・既設のフランジタイプによって、Pシールのサイズと取付方法が異なるので、注意する

Pシールを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行



Pシールは溝にきちんと取り付けてください。



排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にめ込む。確実にめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

9 手動レバーの取り付け

10 便器の取り付け

動画を見る

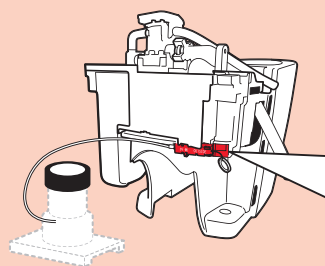
手動レバーの取り付け



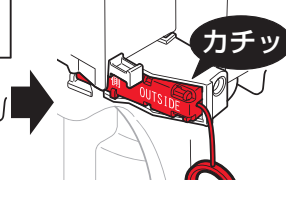
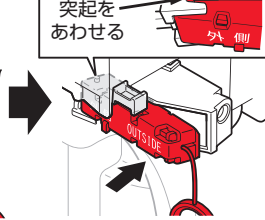
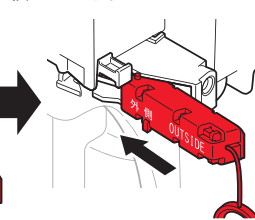
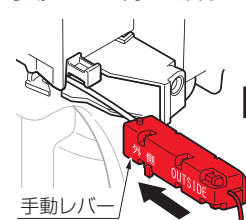
<http://su.toto.com/v6fbd>

※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。



手動レバーの向きを確認して横にスライドする



※取り付け後、手動レバーが外れないことを確認してください。

電子音が鳴り、ランプがすべて点滅している場合

電子音が鳴る
ランプがすべて点滅



①電源プラグを
抜く



②9に従って
手動レバーを
取り付ける



③電源プラグを
差し込む



電子音が止まり、ランプが
すべて点滅していないことを
確認する



＜手動レバーの
取り外し＞

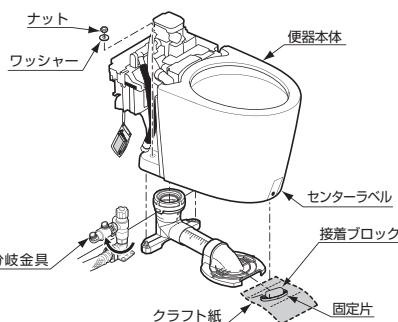
マイナスドライバーなどを
図(A)に挿入し、ロックを
解除して取り外してください。



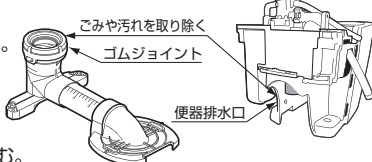
10 便器の取り付け

①分岐金具を外向きに回転させておく。
(便器に干渉しないように)

注意 便器を取り付ける際は、分岐金具を
外向きに回転させておいてください。
外側に回転させないと、便器本体取り付
け時に、便器本体または分岐金具が破損
するおそれがあります。



②便器排水口および排水ソケットの
接続部周辺のごみや汚れを取り除く。



③ 便器排水口を排水ソケットに差し込む。

- ・便器の持ちかたは右下図を参考にしてください。
- ・壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

ポイント

目安として 壁から10～15mmを
目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
※壁に傷がつかないように差し込んでください。

④ センターラベルを基準に便器の位置を
微調整する。

⑤ 便器先端を少し持ち上げ、
固定片の上のクラフト紙を引き抜く。

⑥ 接着ブロックがつぶれるまで、便器を
しっかりと押さえ、センターラベルをはがす。

注意 センターラベルを基準に便器の位置を
微調整してください。位置合わせ後、
センターラベルをはがしてください。

便器が床につくまでしっかり
押さえてください。

⑦ 便器の取付穴(2カ所)をナット、ワッシャーで
固定する。

注意 ナットを確実に締めてください。
ナットを締め過ぎて便器を
割らないように注意してください。



手動レバーの取り回しかた



※手動レバーを引っ張ったり、
便器に挟まないようにしてください。

便器の持ちかた



11 ウォシュレット本体の取り付け

※取付方法・操作方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を
参照してください。

①ウォシュレット本体を取り付ける。

②便器に水が流れているときは、電源プラグをコンセントに差し込む。
・電気工事が未完了のときは、電池ボックスに乾電池を入れて、電池ボックス用コードを
プラグ差し込み口に差し込んでください。

③手動レバーの動作を確認する。

・ウォシュレット本体の試運転を行った後、動作確認を行ってください。

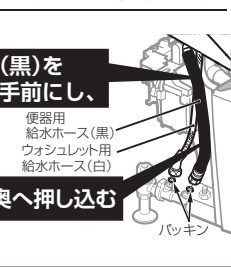
12 すっきりパネルの取り付け

すっきりパネルを図Aと図B(点線)にあわせて
すき間が目立たないように取り付ける。



- ・面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえ、
すっきりパネルが外れないことを確認してください。
- ・すっきりパネルにすき間や浮きがある場合は、右図を参考に
給水ホースの接続方法を確認してください。詳細は、
ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

給水ホース接続方法

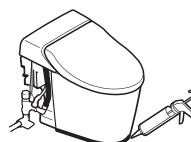


13 取り付け後の確認

- ・試運転後は、すべての接続部において水漏れしていないか確認してください。
取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
- ・試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物が残っていないことを確認してください。
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・陶器表面に傷などが残っていないことを確認してください。陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルト
のバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことが
あります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- ・施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤
など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れ
をふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を
使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間
に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめ
できません。
フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周
囲に防カビ性のシリコン系シーリング材(メジシール)を塗布す
ることをおすすめいたします。



※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。